

## 「しるしとなる」

主任司祭代行 松本 巖

「あなたはわたしの愛する子、私の心にかなう者 I love you. You are OK」。ヨルダン川で洗礼を受けた瞬間、イエスが聴いた宣言である。

いのちの源である父から、完全に愛され受け入れられていると体感したイエスの生き方は変えられ、社会から「罪びと」という烙印を押された人や、救いから除外されていると思わされた人々の中に入り、共に食事をし、「あなたも神からOKと言われている人なんだよ。あなたは幸せになってもいいんだよ」と伝えはじめられた。

今年も高円寺教会信仰共同体に多くの受洗者が与えられた。一人ひとりに水を掛けている時に、神の宣言を聴く思いがした。「あなたは幸せを生きなさい」という。

とても辛いことであるけれど、「私は幸せになってはいけないんだ」と自己決断してしまっている人に出会うことがある。幼少期に肉親から冷たい仕打ちを受けた傷つきから、自己肯定感を持ってない状態に追いやられた人に会うことがある。そんな人に対して、洗礼は神がその人に永遠の愛で純対的な肯定(You are OK)を宣言する和解の場である。

もちろん、秘跡はマジックやご利益ではないから、問題や困難さが無くなるわけではない。イエスがそうであったように、私たちが日々自分の十字架を背負って、私に与えられた「命からの宿題(使命)」を果たしていくことで、神の絶対肯定を世に証する。ただし、私たちはその道行を一人で戦うのではない。神が呼び集めてくださった人々とのきょうだいの絆にむすばれて、交わりとして証する。世にあって、しるしとなるのです。

今、高円寺教会信仰共同体は、この世にあって、目に見えない神の愛、恵み、慈しみ、赦しの目に見えるしるしとなっています。もちろん、いろんな足りなさや課題はあったとしても、しるしになっています。この半年、晴佐久神父様の代行として高円寺教会共同体の交わりに加えていただいた私はほんとうに幸せでした。秘跡の素晴らしさを再体験させていただきました。ありがとうございました。この出会いと絆に励まされ、私もまた自分の十字架を喜んで担っていく覚悟ができました。奪い去られることのない最終的な幸せにあずかる日を目指して。